

展示室の主役たち

地質標本館地質標準課

地質標本館の第四展示室では、岩石・鉱物・化石の分類展示を行っています。岩石100点、鉱物333点、化石400点が系統的に展示され、標本は常に最新のデータに基づいて検討し、展示の交換や追加を行っています。展示標本の大部分は所員が収集したのですが、中には個人や、鉱山会社の寄贈によるものも多く見られます。



写真1

兵庫県中瀬鉱山産 自然金(Native gold : Au
等軸晶系)(GSJ M19500) 黒色柱状の輝安鉱
を伴う石英の上に結晶をなす。(×1)

(北 和子氏寄贈)

写真2

北海道豊羽鉱山産 ティール鉱(Teallite : $PbSnS_2$
斜方晶系)(GSJ M19501) 浅熱水性亜鉛鉱脈の黄
鉄鉱、閃亜鉛鉱を主とする鉱石の表面に葉片状結晶
をなす。(×0.3)

(豊羽鉱山林株式会社 神原 洋氏寄贈)





写真3

栃木県高井鉱山産 紫水晶 (Amethyst: SiO_2 , 三方晶系)
(GSJ M12472) 浅熱水性銅鉱脈の脈石をなすもので、黄鉄鉱を伴う。(×0.5)

(木下標本)

写真4

宮崎県土呂久鉱山産 ダンブリ石 (Danburite: $\text{CaB}_2(\text{SiO}_4)_2$,
斜方晶系) (GSJ M12471) 高熱交代鉱床に産し、斧石を伴う。(×0.3)

(木下標本)

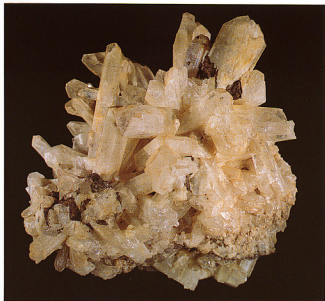


写真5

岐阜県神岡鉱山産 神岡鉱 (Kamiokaite: $\text{Fe}_2\text{Mo}_3\text{O}_{12}$,
六方晶系) (GSJ M18527) 花崗斑岩中の石英脈に産し
六角粒状又は板状結晶をなす。輝水鉛鉱を伴う。本所員
が中心に研究、記載された新鉱物(×0.5)

(三井金属鉱業株式会社 塩原幹治氏(当時)寄贈)



写真6 メタセコイア *Metasequoia occidentalis* (NEWBERRY) CHANEY (GSJ F7561)
兵庫県神戸市小河産 第三紀 神戸層群(×0.46)

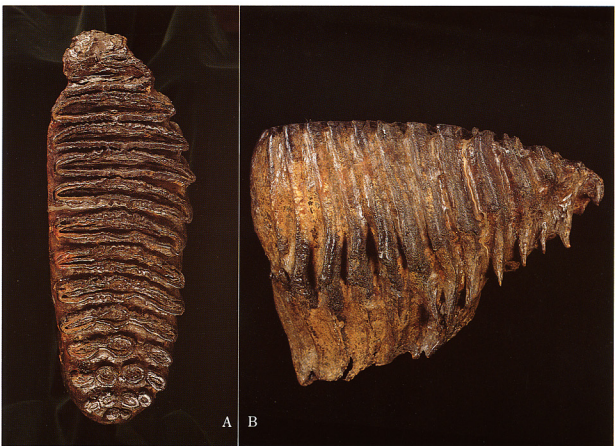


写真7 ナウマン象 *Palaeoloxodon naumanni* (MAKIYAMA) 左上順第三大白歯, GSJ F13281
つくば市下広同産(A×0.43, B×0.35)更新世後期
(標本は茗溪学園から寄贈されたもの。研究報告は横浜国立大学長谷川善和先生等により準備中。)



写真 8 アンモナイト *Eupachydiscus harudai* (JIMBO) GSJ F5156 北海道芦別市産 白亜紀後期 (×0.5)